

火災発生時に膨張、貫通部に高断熱層を形成。延焼を防止!

## ファイブロック 冷媒管用パテレスキット

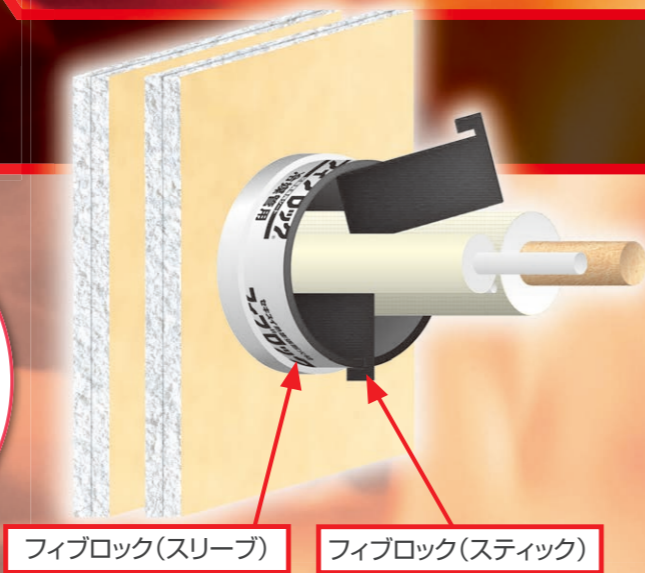
パテレス、鋼製スリーブレスで従来品より  
**施工時間を大幅に短縮!!**

### 高い利便性!

- 開口と開口の離隔距離は10mmまで短縮できます。
- 4ラインナップで様々な開口径に対応できます。
- 1キット/1開口の使い切りです。

### 簡単施工!

- 中空壁で鋼製枠が不要です。
- 片側からの施工で完了します。
- 開口部へのパテ充填が不要です。



### ファイブロック冷媒管用パテレスキットの適用範囲

適用場所	種類	厚さ	開口径	国土交通大臣認定番号
壁	片壁	42mm以上	φ163mm以下	PS060WL-0767-1
	中空壁	74mm以上		PS045WL-0765
	ALC、コンクリート	80mm以上		PS060WL-0769
床	ALC、コンクリート	100mm以上	φ163mm以下(φ223mm以下※)	PS060FL-0763

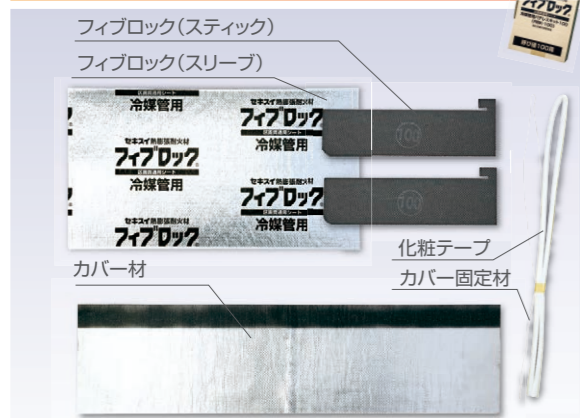
※床施工時に鋼製スリーブをモルタルで埋め戻す場合

●詳しくは各認定書・カタログ等をご確認ください。

使用部位	壁			床	
	片壁	中空壁	ALC、コンクリート	鋼製枠無し	鋼製枠あり
認定番号	PS060WL-0767-1	PS045WL-0765	PS060WL-0769	PS060FL-0763	
施工イメージ図					

※本製品は、(一財)日本消防設備安全センター評定を取得しておりません。

### キット内容



### 冷媒管耐火試験

	加熱前	加熱後
片壁 施工裏面加熱		
中空壁 施工面加熱		

各種壁、床(鋼製枠有or無し)で認定取得しています。

### 適用管種

種類	スペック
冷媒管 (保温材厚み20mm以下)	銅管 外径φ38.10mm以下 アルミ管 外径φ40mm以下
ケーブル	3.5mm <sup>2</sup> ×4C以下
ドレン用排水管ACドレンパイプ	呼び径50以下
占積率	62.3%以下

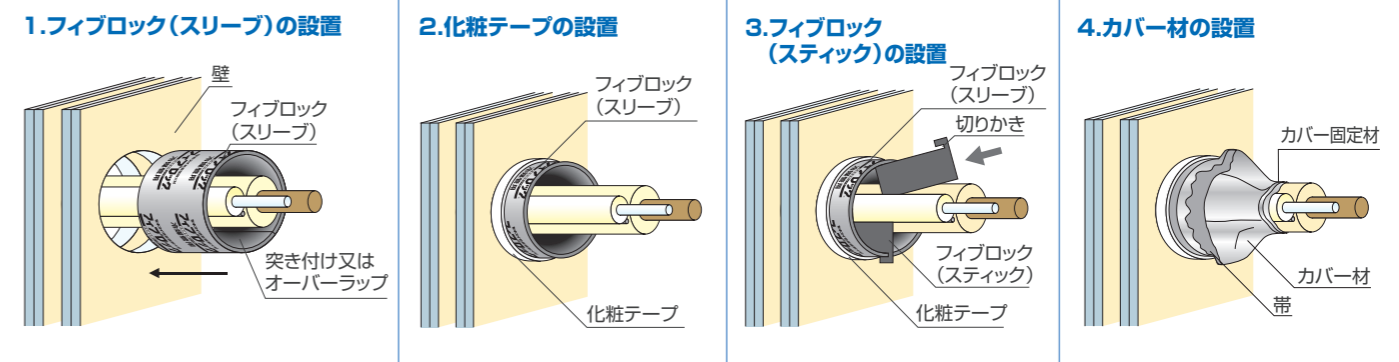
業界トップレベル  
占積率62.3%  
を達成!



### ファイブロック冷媒管用パテレスキットの仕様

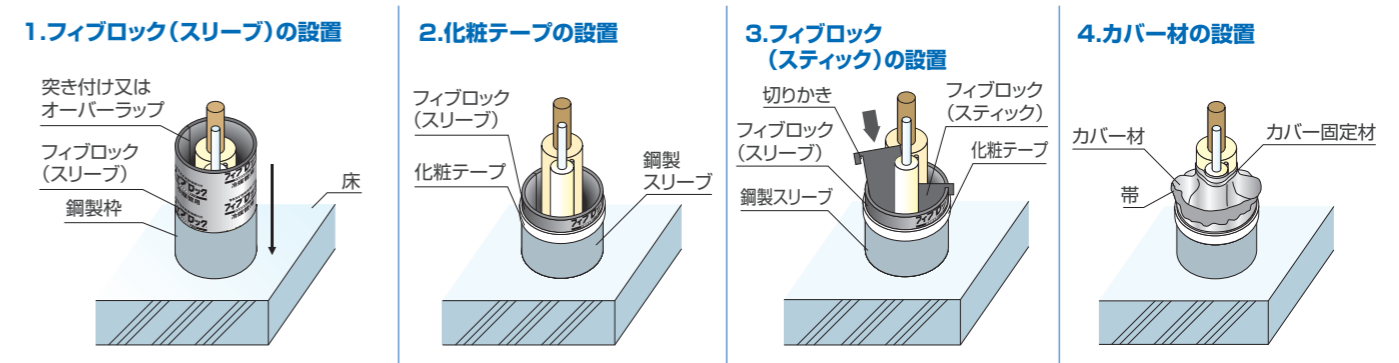
品名 パテレスキット	品番	キット内容					入数
		ファイブロック (スリーブ)	ファイブロック (スティック)	化粧テープ	カバー材	カバー 固定材	
75	RBK-075	267×191×2.25	42×201×4.5	10×500×5	130×400	4×700	10キット/ケース
100	RBK-100	347×191×2.25	55×201×4.5	10×700×5	130×500		
125	RBK-125	425×191×2.25	67×201×4.5	10×900×5	130×600		
150	RBK-150	513×191×2.25	81×201×4.5	10×1000×5	130×700		

### 標準施工方法：壁(丸穴)の場合<国土交通大臣認定番号:PS060WL-0769(RC/ALC・中空壁)>



※標準施工方法の詳細につきましては、P.3をご確認ください。

### 標準施工方法：床の場合<国土交通大臣認定番号:PS060FL-0763(RC/ALC床)>

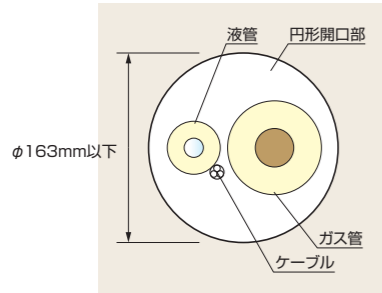


※鋼製スリーブのありなしにつきましては認定書をご確認ください。

※標準施工方法の詳細につきましては、P.5をご確認ください。

1. 開口部の設置

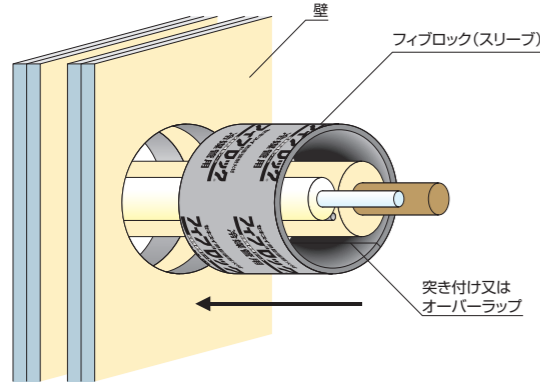
- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。
- 開口部が本製品の適合範囲内であることを確認します。



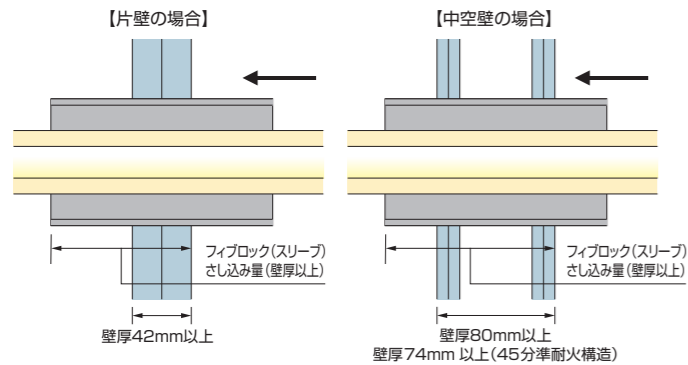
2. フィブロック(スリーブ)の設置

- 配管、配線した後、管等の表面の埃・汚れを除去します。
- アルミ面を外側にして、フィブロックのロゴが壁面に対し、平行になるように配置し、開口部にフィブロック(スリーブ)を巻き入れます。
- フィブロックは突きつけ・オーバーラップのどちらでも可能です。
- フィブロック(スリーブ)が概ね壁の中央にくるように配置します。

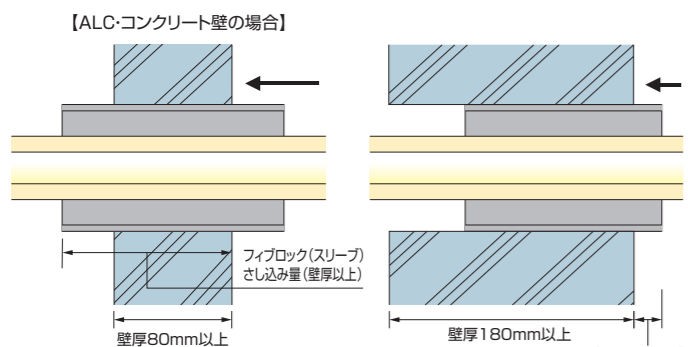
- ポイント**
- 壁からの出寸法が左右でほぼ等しくなるように配置してください。  
※寸法の指定はありません。



◎スリーブの状態



※壁厚180mmを超える場合はご連絡ください。

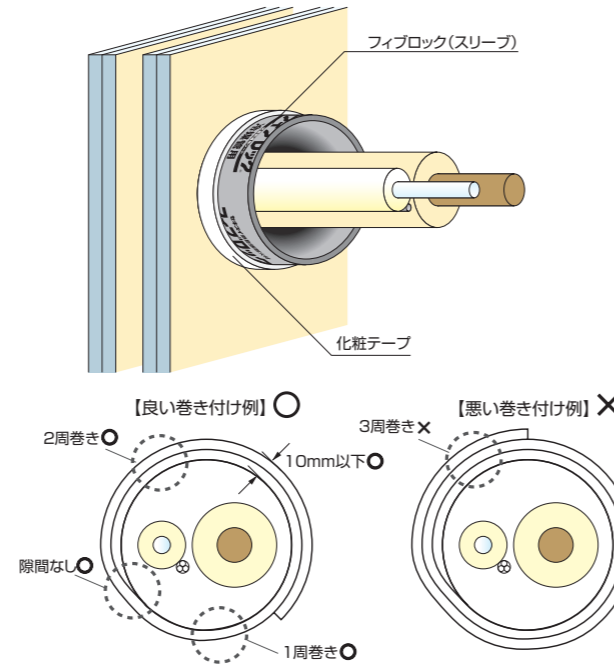


- ポイント**
- フィブロック(スリーブ)が概ね壁の中央にくるように配置します。

3. 化粧テープの設置

- 化粧テープを壁面に沿ってフィブロック(スリーブ)に巻き付けます。
- 反対側が見えないように注意して、2周以下巻き付けます。

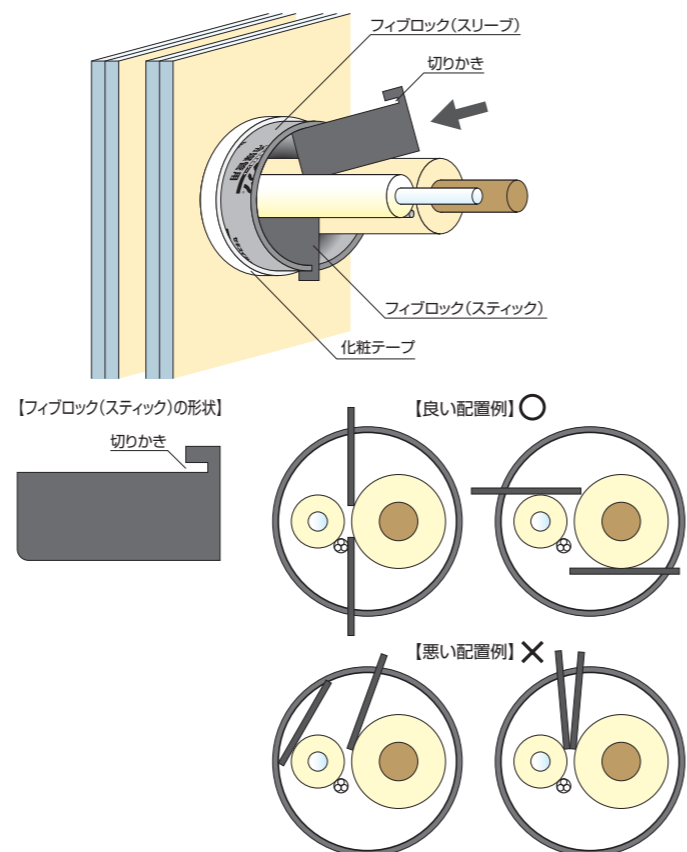
- ポイント**
- 化粧テープは必ず厚み10mm以下(2周以下)となるように巻き付け、余ったテープはカットします。



4. フィブロック(スティック)の設置

- 配管と配管の間にフィブロック(スティック)をさし込みます。
- フィブロック(スリーブ)の位置がずれないように注意しながら、フィブロック(スティック)を切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れてください。

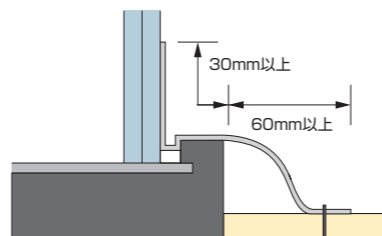
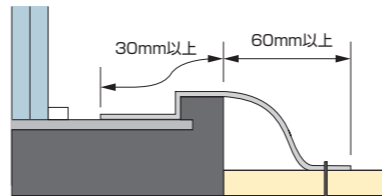
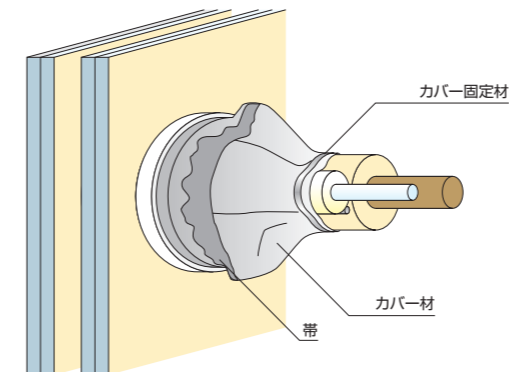
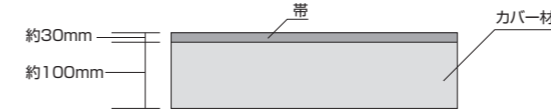
- ポイント**
- 2個のフィブロック(スティック)が、概ね中央で向き合うようにさし込み、切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れて引っ掛けます。



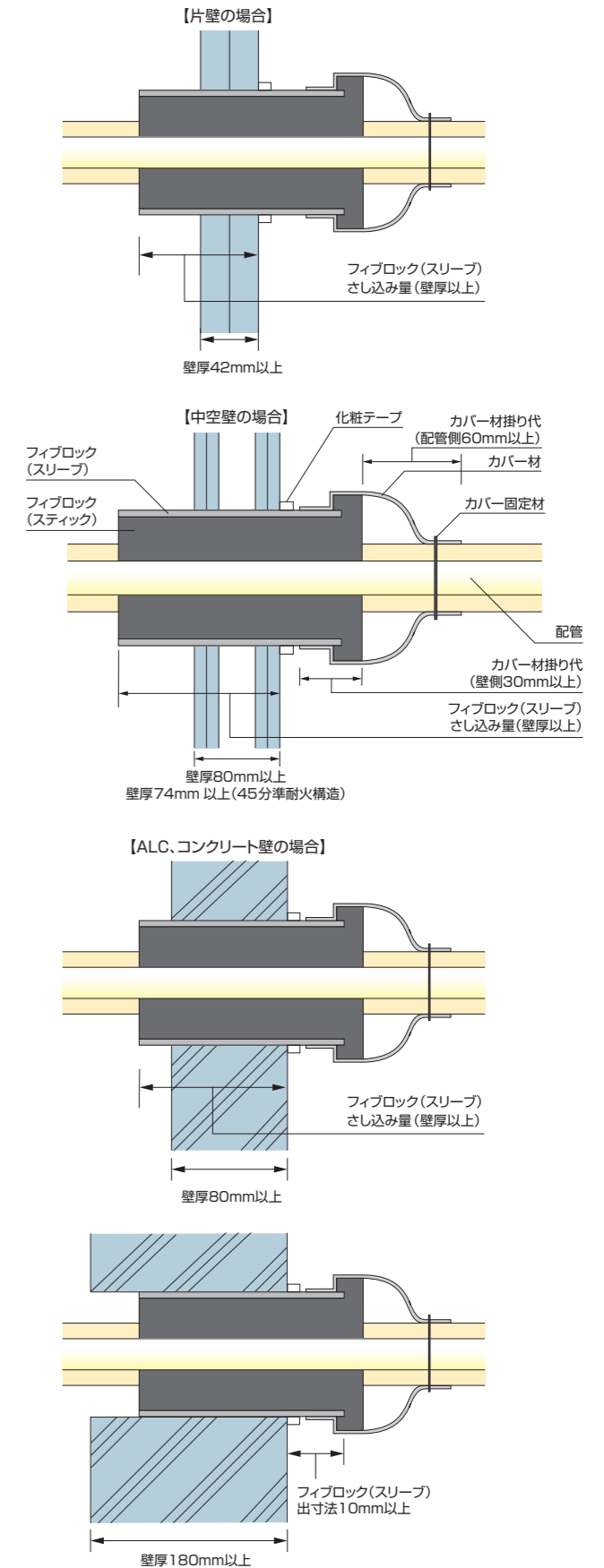
5. カバー材の設置

- カバー材を配管、配線に巻き付けます。
- フィブロック(スティック、スリーブ)および開口部を覆うように配管にかぶせます。この時、反対側が見えないようにします。
- カバー固定材をカバー材に巻き付け、配管部に固定してください。

- ポイント**
- カバー材の帯を目安にして30mm以上、壁側に設置します。
  - フィブロック(スティック、スリーブ)の出寸法が30mmより少ない場合は、カバー材を30mm以上使用して、壁面に掛かるように設置してください。
  - 配管への掛け代が60mm以上であることを確認してください。

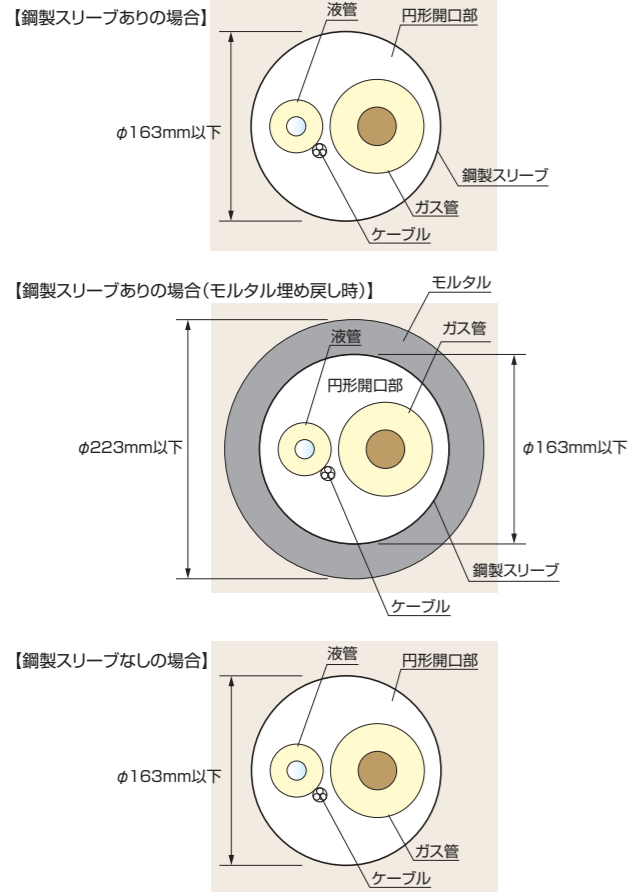


◎施工状態



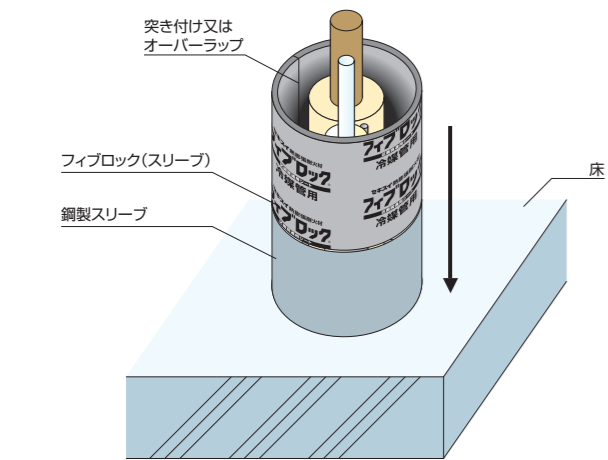
1. 開口部の設置

- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。
- 開口部が本製品の適合範囲内であることを確認します。

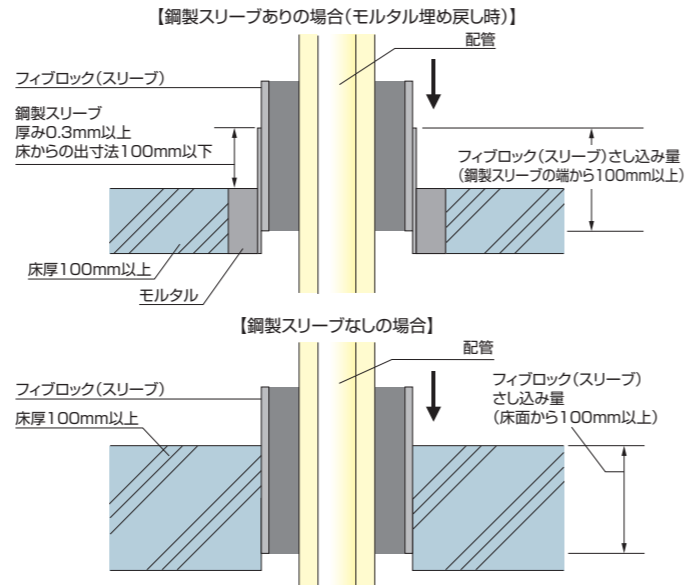
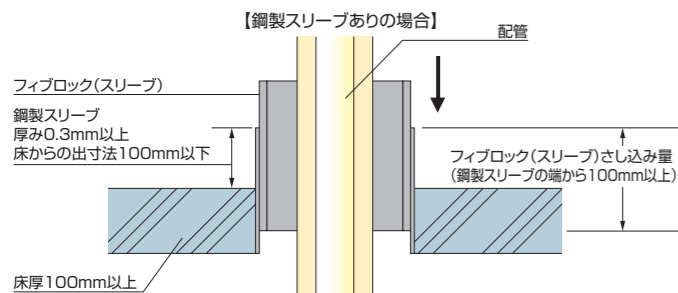


2. フィブロック(スリーブ)設置

- 配管、配線した後、管表面の埃・汚れを除去します。
- アルミ面を外側にして、フィブロックのロゴが床面に対して平行になるように配置し、開口部にフィブロック(スリーブ)を巻き入れます。
- フィブロックは突きつけ・オーバーラップのどちらでも可能です。
- フィブロック(スリーブ)が落下しないように十分注意してください。



◎各床に対するスリーブの設置状態

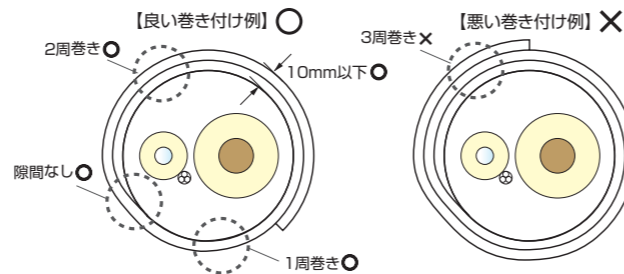
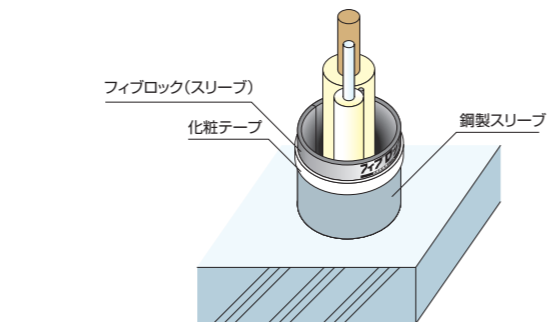


3. 化粧テープの設置

- 化粧テープを鋼製スリーブの端、または床面(鋼製スリーブなしの場合)に沿ってフィブロック(スリーブ)に巻き付けます。
- 反対側が見えないように注意して、2周以下巻き付けます。

ポイント

- 化粧テープは必ず厚み10mm以下(2周以下)となるように巻き付け、余ったテープはカットします。

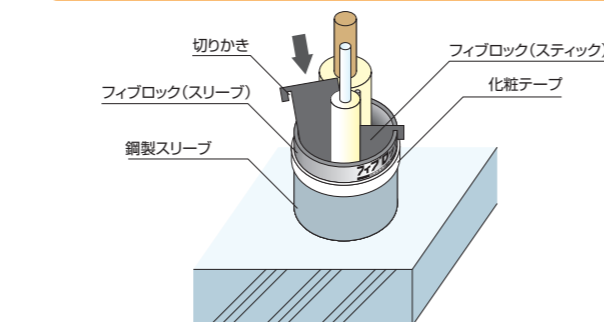


4. フィブロック(スティック)設置

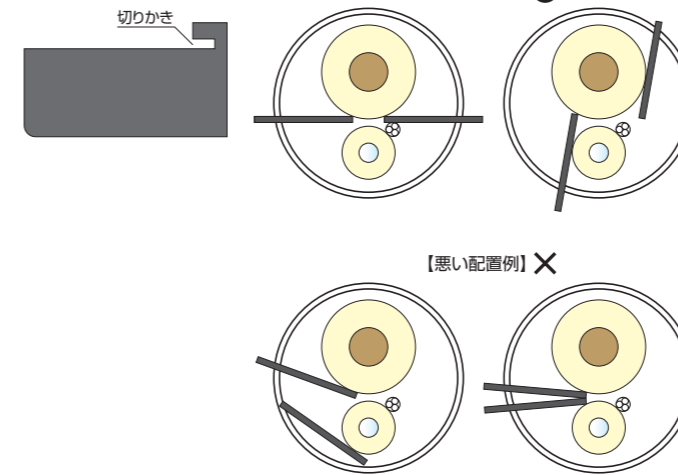
- 配管と配管の間にフィブロック(スティック)をさし込みます。
- フィブロック(スリーブ)の位置がずれないように注意しながら、フィブロック(スティック)を切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れてください。
- フィブロック(スティック)が落下しないように十分注意してください。

ポイント

- 2個のフィブロック(スティック)が、概ね中央で向き合うようにさし込み、切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れて引っ掛けます。



【フィブロック(スティック)の形状】

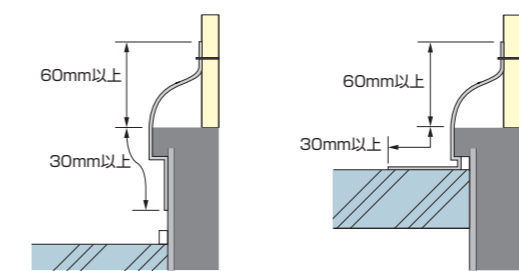
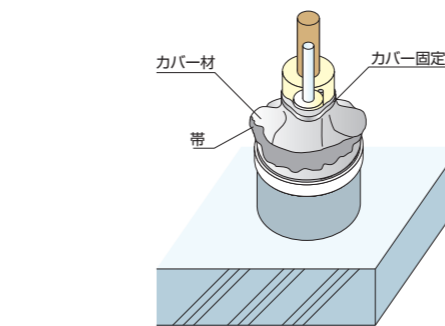
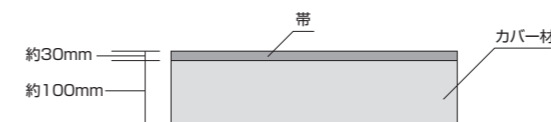


5. カバー材の設置

- カバー材を配管、配線に巻き付けます。
- フィブロック(スティック、スリーブ)および開口部を覆うように配管にかぶせます。この時、反対側が見えないようにします。
- カバー固定材をカバー材に巻き付け、配管部で固定してください。

ポイント

- カバー材の帯を目安にして30mm以上、鋼製スリーブまたは床側へ設置します。
- フィブロック(スティック、スリーブ)の出寸法が30mmより少ない場合は、カバー材を30mm以上使用して、床面に掛かるように設置してください。
- 配管への掛け代が60mm以上であることを確認してください。



◎施工状態

